

# 令和2年度 農作物病虫害発生予察5月月報

令和2年(2020年)6月1日  
山口県病虫害防除所

## I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
5.1	19.6	17.1	2.5	26.2	22.9	3.3	14.5	11.6	2.9
5.2	19.1	17.8	1.3	24.1	23.6	0.5	14.6	12.3	2.3
5.3	19.0	18.1	0.9	25.8	23.9	1.9	12.6	12.7	△0.1
5.4	19.3	18.6	0.7	23.1	24.3	△1.2	16.6	13.2	3.4
5.5	20.2	19.2	1.0	26.9	24.9	2.0	14.3	14.0	0.3
5.6	20.6	20.0	0.6	27.0	25.6	1.4	14.6	14.9	△0.3
平均・計	19.6	18.5	1.2	25.5	24.2	1.3	14.5	13.1	1.4
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
5.1	53.0	31.1	21.9	31.9	30.7	1.2			
5.2	15.0	33.6	△18.6	33.7	31.2	2.5			
5.3	63.0	36.3	26.7	43.8	31.8	12.0			
5.4	42.5	34.8	7.7	17.3	32.3	△15.0			
5.5	0.0	29.5	△29.5	37.3	33.2	4.1			
5.6	9.5	30.6	△21.1	37.5	40.1	△2.6			
平均・計	183.0	195.9	△12.9	201.5	199.3	2.2			

## II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 各麦種とも登熟は概ね順調で、成熟期は平年並～やや早い。
- (2) カンキツ : 開花は平年より3～5日程度早い。着花量は、園地ごとにばらつきはあるが、裏年のわりには比較的確保されている。
- (3) ナシ : 着果は、開花期の低温により平年に比べると、若干少ない状況。一部の園では、遅霜の被害がみられる。

### III 病害虫の発生状況

#### 1 普通作物

2020年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																	
イネ いもち病 (苗いもち) 苗立枯病 もみ枯細菌病 (苗腐敗症) ばか苗病	5月下旬の共同育苗施設(27施設)の聞き取り調査では、下表のとおりであった。  表 共同育苗施設の聞き取り調査結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病害名</th> <th colspan="2">発生施設率 (%)</th> </tr> <tr> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いもち病</td> <td>0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>苗立枯病</td> <td>3.7</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>もみ枯細菌病</td> <td>0</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>ばか苗病</td> <td>0</td> <td>2.9</td> </tr> </tbody> </table>	病害名	発生施設率 (%)		本年	平年	いもち病	0	1.5	苗立枯病	3.7	4.0	もみ枯細菌病	0	1.2	ばか苗病	0	2.9	—	—
病害名	発生施設率 (%)																			
	本年	平年																		
いもち病	0	1.5																		
苗立枯病	3.7	4.0																		
もみ枯細菌病	0	1.2																		
ばか苗病	0	2.9																		
セジロウンカ	4月1日～5月25日の予察灯及びネットトラップでは確認されなかった(平年初確認日6月5日)。	—	—																	
トビイロウンカ	4月1日～5月25日の予察灯及びネットトラップでは確認されなかった(平年初確認日7月11日)。	—	—																	
ヒメトビウンカ	下旬のコムギのすくい取り調査では、20回当たり成幼虫数は10.9頭(平年40.8頭)で平年に比べ少なかった。	県内全域	—																	
ニカメイガ	4月1日～5月25日の予察灯では確認されなかった。	—	—																	
イネミズゾウムシ	予察灯(県内4か所、4月1日～5月25日合計)における誘殺数は、25頭(平年34.6頭)で平年に比べやや多かった。成虫誘殺ピークは5月5日(平年5月6日)で平年並みであった。	県内全域	—																	
コムギ (調査ほ場数:中甸17、 下旬17) 赤かび病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年19.9%)、発病穂率0%(平年0.6%)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.4%(平年41.0%)、発病穂率0.6%(平年1.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 415																	
うどんこ病	中甸の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.7%)、発病葉率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—																	

2020年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
黒節病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9% (平年4.5%)、発病茎率0.2% (平年0.3%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 83
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率47.1% (前年20.0%)、発病茎率31.8% (前年19.7%)、発病度16.5 (前年9.6) であった。	県内全域	甚多中少計 166 83 166 249 664

## 2 果樹

2020年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:20) かいよう病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率5.0% (平年2.2%)、発病葉率0.1% (平年0.1%)、発病度0.0 (平年0.0) で平年並みであった。	県内全域	少 56
そうか病	下旬の巡回調査では、新葉での発生ほ場率5.0% (平年0%)、発病葉率0.1% (平年0%)、発病度0.0 (平年0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 56
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年33.8%)、発病花率1.9% (平年2.1%) で平年並みであった。	県内全域	中少計 169 282 451
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.4%)、寄生葉率0% (平年1.0%) で平年に比べ少なかった。	県内全域	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (前年25.0%)、寄生新梢率0.2% (前年0.4%) であった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 113
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀及びゴールド二十世紀ほ場数:9)	初発生は認められていない (平年6月17日)。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年12.3%)、発病葉率0% (平年0.1%)、徒長枝の発病新梢率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—
黒星病	初発生は5月21日 (平年6月3日) に萩市で認められ、平年に比べ早かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率13.3% (平年3.0%)、発病葉率0.2% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 23

赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年10.0%)、発病葉率0% (平年0.2%) で平年に比べやや少なかった。 番外で発生が認められた。	山口市、 下関市	少	1
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率46.7% (平年22.7%)、寄生新梢率1.3% (平年0.8%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少 計	23 57 80
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年1.7%)、寄生葉率0.1% (平年0.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少	11
ニセナシサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、寄生新梢率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—	—
チュウゴクナシ キジラミ	下旬の巡回調査では発生が認められず、平年並みであった。	—	—	—
ナシヒメシンクイ	フェロモントラップ(萩市小川、4月26日～5月25日合計)における誘殺数は28頭(平年14.3頭)で平年に比べ多かった。	萩市	—	—
キウイフルーツ (調査ほ場数：3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (前年33.3%)、発病葉率1.3% (前年0.4%) であった。	下関市	少	1
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアオカ メムシ、ツヤアオ カメムシ、クサギ カメムシ)	予察灯(県内5か所、4月26日～5月25日合計)における誘殺数は347頭(平年32.8頭)で平年に比べ多かった。主要種はチャバネアオカメムシであった。 フェロモントラップ(県内4か所、5月1～25日合計)によるチャバネアオカメムシの誘殺数は2,646頭(平年619.9頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—	—

## 3 野菜

2020年5月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
タマネギ (調査ほ場数：15) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率26.7% (平年26.8%)、発病株率16.1% (平年 12.9%)で平年並みであった。	県内全域	甚	15
			中	7
			少	7
			計	29
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—	
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年12.4%)、発病株率0.8%(平年0.5%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中	7
			少	15
			計	22
軟腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年 0.6%)、発病株率0%(平年0.0%)で平年並 みであった。	—	—	
さび病、萎黄病、 ボトリチス属菌に よる葉枯れ症 (白 斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平 年並みであった。	—	—	
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率46.7% (平年50.8%)で平年並みであった。	県内全域	多	7
			少	45
			計	52

お問い合わせ先  
 山口県病害虫防除所  
 TEL (083) 927-4006  
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp